

令和8年8月27日

弟子屈町立川湯小学校保護者各位

弟子屈町立川湯小学校

校長 山 舘 孝 志

令和8年度 川湯小学校 学校評価アンケートの結果について（第1回 4月～7月）

残暑の候、保護者の皆様には益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。また、日頃より本校の教育活動に対しご理解とご協力を賜りますことに厚くお礼申し上げます。

7月にご協力いただきました学校評価アンケートの結果について、以下の通りお知らせいたします。皆様からの評価や貴重な情報、ご意見などを十分に生かし、今後の教育活動の改善に役立てていきたいと思えます。ご多用の中、ご協力いただき誠にありがとうございました。

◇ 各項目「4：まったくそう思う 3：そう思う 2：あまりそう思わない 1：まったく思わない」の4段階

◇ 三者回答の項目の平均値 3以上で成果と思われる項目～ 3未満で課題と思われる項目～

	評 価 項 目	児 童	保護者	教職員
学校全体について	① 学校は、保護者や地域ご情報や教育活動を積極的に公表し「開かれた学校」となっている。	—	3.3	3.5
	② 学校は、子どもたちの健康・安全に対する取り組みを十分行っている。	—	3.4	3.3
	③ 学校は、子どもたちが生活しやすい施設・設備・環境を整えている。	—	3.4	3.5
	④ 学校は、子どもたちの人間関係を良好にし、「いじめ」の起こりにくい学校となっている。	—	3.3	3.7
	⑤ 学校は、「学校だより」や「学級通信」、その他連絡を丁寧に発行している。	—	3.4	3.3
	⑥ 学校では、i P a d を、授業や諸活動で積極的に活用している。	—	3.1	—
	⑦ 学校は、自然災害や不審者対応等に対する取組を適切に実施している。	—	3.3	3.7
明るく	⑧ 子どもたちは、楽しく学校へ通っている。	3.6	3.4	3.0
	⑨ 子どもたちは、自ら進んで元気に挨拶している。	3.5	2.9	2.8
	⑩ 子どもたちは、場に応じた言葉づかいで話すなど、基本的な生活習慣が身についている。	3.0	2.9	2.4
	⑪ 子どもたちは、家庭で学校の話をよくしている。	3.2	2.7	—
かしこく	⑫ 子どもたちは、学校で勉強がわかり、楽しいと感じている。	3.6	2.9	3.0
	⑬ 子どもたちの学力が向上している。	3.3	2.9	2.7
	⑭ 子どもたちは、家庭でも自ら進んで本を読んだり、勉強に取り組んだりしている。	—	2.3	2.2
	⑮ 子どもたちは、将来へむけての夢を持ち、今よりもより良く生きようとしている。	3.7	3.0	2.8
仲良く	⑯ 子どもたちは、学校やクラスの友人と仲良くしようと心がけている。	3.8	3.3	3.5
	⑰ 子どもたちは、困っている人に積極的に声掛けや手を貸そうとしている。	3.6	3.3	3.5
	⑱ 子どもたちは、周りと協力して物事に取り組んでいる。	3.5	—	3.7
	⑲ 子どもたちは、周りの人の行動が間違っている、正しい行動をとろうとしている。	3.3	3.1	2.5
たくましく	⑳ 子どもたちは、自分の健康や安全に気を配りながら生活している。	3.6	3.1	2.7
	㉑ 子どもたちは、自身の体力が向上している。	3.6	3.3	3.2
	㉒ 子どもたちは、苦労や困難を乗り越える力が育っている。	3.5	2.8	2.6
	㉓ 子どもたちは、あらゆる取組に対して最後までしっかり取り組んでいる。	—	—	3.0
	㉔ 子どもたちは、自分の考えや思いを相手にしっかり伝えている。	3.1	2.7	3.0
先生	㉕ 先生は、親身に子どもたちや保護者の相談に乗ってくれる。	3.6	3.3	3.5
	㉖ 自分は、子どもたちの手本となるよう心掛けている。	—	—	3.0
	㉗ 先生は、子どもたちの成長のために懸命に取り組んでいる。	—	3.4	3.3
	㉘ 先生は、地域や町の行事にも積極的に参加しようとしている。	—	3.0	3.3
授業	㉙ 授業は、わかりやすい。	3.8	—	—
	㉚ 授業は、新しいことがわかったり、理解が深まったりしている。	3.5	—	—
	㉛ 授業は、いろいろなことを考えたり話し合ったりすることが多い。	3.5	—	—
	㉜ 自分は、「分かった」「できた」があふれる授業改善や実践を行っている。	—	—	3.0

◇自由記述より

【保護者】

・いつも子ども達のためにありがとうございます。

【児童】

・トイレの匂いを改善してほしい（特に1階男子トイレ）・トイレを新しくしてほしい。・カレーの量を多くして欲しい。

（１）「三者回答の項目の平均値が3以上で成果と思われる項目」について

⑧ 楽しく学校に通っている。 児：3.6 保：3.4 教：3.0

→ R7（児3.5、保3.3、教3.0）と比較しても数値が維持・向上しており、児童が学校生活に対して継続的に前向きな気持ちを持っていることが伺えます。学校が安心できる場所であり、教育活動が充実している証左と言えます。

⑯ 学校やクラスの友人と仲良くしようと心がけている。 児：3.8 保：3.3 教：3.5

→ 児童の自己評価（3.8）は全項目の中で最も高く、R7（3.7）をさらに上回りました。仲間を大切にする「心がけ」が児童に深く浸透していることがわかります。教職員の評価（3.5）も高く、良好な人間関係づくりが成果として現れています。

⑳ 体力が向上している。 児：3.6 保：3.3 教：3.2

→ 三者全てで3.2以上の高い数値を示しています。休み時間の外遊びや職員も交えた活動、各種行事が健康保持や体力向上に確実に結びついていると推察されます。

㉕ 先生は、親身に子どもたちや保護者の相談に乗ってくれる。 児：3.6 保：3.3 教：3.5

→ R7と同様に高い信頼を得ています。教職員が児童一人ひとりと積極的に関わり、保護者に対しても誠意をもって対応している姿勢が評価されていると考えられます。

（２）「三者回答の項目の平均値が3未満で課題と思われる項目」について

⑩ 場に応じた言葉づかいで話すなど、基本的な生活習慣が身についている（児：3.3、保：2.9、教：2.7）

→ 児童は「できている」と感じていても、大人から見ると不十分であるという認識の差が顕著です。日常的な声掛けに加え、道徳等での意識付けがより一層求められます。

⑬ 子どもたちの学力が向上している（児：3.3、保：2.9、教：2.7）

→ 昨年と同様に保護者と教職員の評価が3.0を下回っており、継続的な課題です。校内の研修で進めている授業改善の取組をさらに深め、児童が「わかった」「できた」を実感できる授業の質的向上を継続してまいります。

㉔ 苦労や困難（難しいことや苦手なこと）を乗り越える力が育っている。 児3.5 保2.8 教2.6

→ 児童の自信（3.5）に対し、保護者（2.8）と教職員（2.6）の評価が低く、「レジリエンス（折れない心）」の育成に課題があります。児童が困難に直面した際のサポート体制や、自信を持たせるための行事・活動の工夫が引き続き重要となります。

◇ 2学期大事にすること

○丁寧な言葉づかいの継続指導と、メディア利用等に関する生活習慣の改善

授業中をはじめ、学校生活全体における丁寧な言葉づかいの指導を継続してまいります。

また、メディア利用などの基本的な生活習慣については、小中連携事業を通じて指導方法等を協議し、ご家庭とも密に連携しながら改善に取り組めます。

○朝の学習時間の確保と、家庭と連携した自学自習・読書の習慣化

日課表の見直しを通じて朝の学習・読書時間を確実に生み出し、児童のさらなる学力向上を図ります。また、朝の時間に家庭学習の計画や準備を行うなどの工夫を通じて、ご家庭での本読みや自主的な学習習慣の定着へとつなげていきます。

○困難を乗り越える「レジリエンス（折れない心）」を育む支援と見極め

㉔の苦労や困難を乗り越える力を育てるため、子ども達が困っているときに大人がすぐに手を貸すだけでなく、自分自身の力で最後まで考え、取り組む場面を大切にします。どこまでを自分で頑張らせ、どこから大人がサポートするかという適切な見極めを行い、困難を乗り越える力を育んでいきます。